

平成 29 年度 日本海岸林学会 浜松大会プログラム

会期 2017 年 11 月 3 日(金)～11 月 5 日(日) (11 月 6 日(月):現地検討会 2)

会場 静岡県浜松市福祉交流センター 2 階大会議室

大会日程

月日	時間	内容
11 月 3 日(金)	19:00～20:00	運営委員会(会長、副会長、幹事、大会事務局)
11 月 4 日(土)	8:45～16:15	現地検討会 1(浜松市～掛川市の防潮堤、試験植栽地等の視察)
	18:00～21:00	情報交換会(浜松 個室居酒屋 呑み処 蔵の間)
11 月 5 日(日)	9:20～10:20	評議員会
	10:30～16:45	開会宣言・研究発表会
	16:50～17:30	総会・学会賞授与式・閉会宣言
11 月 6 日(月)	11:00～13:00	現地検討会 2(三保の松原の視察)

平成 29 年度 日本海岸林学会 浜松大会事務局

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1

東京都市大学大学院 環境情報学研究科 吉崎研究室 担当:中島有美子

Email: taikai@jscf.jp TEL: 045-910-2556(研究室)

会場案内

会場： 静岡県浜松市福祉交流センター(静岡県浜松市中区成子町 140-8)

<http://www.h-fukushikoryu.jp/>

《浜松駅から会場までのアクセス》

◎徒歩

JR浜松駅北口を左手に曲がり、高架線路沿いに
西南方向(豊橋方向)へ約 10 分

◎遠鉄バス

浜松駅前バスターミナル 4 番乗り場

10 番: 舞阪町内・弁天島温泉ゆき

12 番: 高塚・馬郡ゆき

16 番: 法枝・小沢渡ゆき

「成子坂」下車 徒歩 3 分

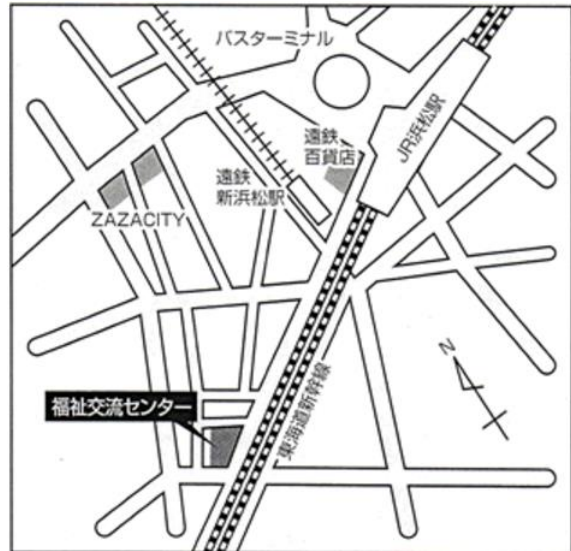
◎循環まちバス く・る・る 南ループ

浜松駅前バスターミナル 7 番乗り場

運行時間 9:30~17:28

(浜松駅バスターミナル毎時 00・30 分発)

13 番(福祉交流センター)下車(浜松駅から約 15 分)



《駐車場》

センターの専用駐車場は施設建物の道路を挟んで北側にあります。

駐車料金: 200 円(1 回)

※駐車台数には限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

《会場》

2階の大会議室となります。

2階



多目的トイレ (ベビーシート、ベビーキープ)

大会議室

21会議室

22会議室

会場

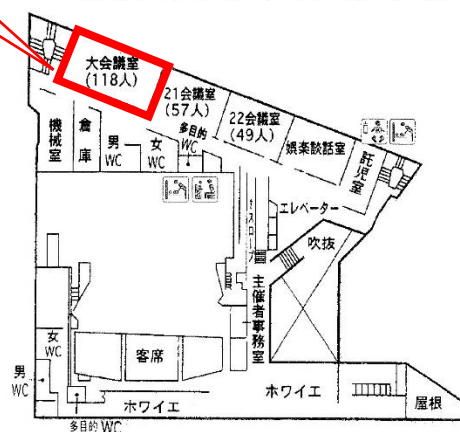
娯楽談話室

託児室・授乳室

(授乳室・おむつ交換用ベッド)



※託児室のご利用は、1階
事務室へお申し出ください。



《受付》

大会参加の受付は会場で行います。直接上記会場までお越しください。

また、当日参加の方は、下記の参加費を受付にてお納めください。

会員/非会員	参加費(当日参加)
会員	3,500 円
非会員	5,000 円

研究発表会プログラム

≪主催地からの話題提供≫

時間	発表タイトル	発表者(所属)
10:40	「ふじのくに森の防潮堤づくり」施行地における植栽木の生育調査の結果と考察	木田 倫裕 (静岡県経済産業部中遠農林事務所)

≪口頭発表≫

(午前の部)

時間	講演番号	発表タイトル	発表者(所属)
11:00	01	青森県三沢市の津波被害跡地に植栽されたクロマツコンテナ苗の生育状況	○中村 克典(森林総合研究所東北支所)・田中 功二・木村公樹(青森県林業研究所)
11:15	02	東日本大震災の津波で被災した名取市海岸林の再生における盛土の状態と植栽したクロマツ苗の生育状況の検証	○今井 勇雄(福島大学大学院共生システム理工学研究科博士後期課程)・後藤 忍(福島大学大学院共生システム理工学研究科)
11:30	03	新規生育基盤材とその配合量の違いがクロマツの生育に及ぼす影響	○岡村 怜美・田中 賢治・朝日伸彦・森 千夏(非営利特定法人自然再生技術協会)
11:45	04	津波被害を受けたクロマツ海岸林における植生回復に対する倒木除去作業の効果	○林田 光祐・北澤 未玖(山形大農)

○:発表者

(午後の部)

時間	講演番号	発表タイトル	発表者(所属)
14:15	05	大津波後のクロマツ残存林帯立木の保安全管理における樹勢判定 — 高分解能デンドロメーターの利用 —	○橋本 良二(放送大学岩手SC)・島貫 彩・白旗 学(岩手大農)
14:30	06	全天空写真の定点撮影により計測した津波被災後の海岸林樹冠層の季節変化	齋藤 武史(森林総合研究所東北支所)
14:45	07	東日本大震災によって被災した海岸林の攪乱の大きさと林床植生の初期動態	○島田 直明(岩手県立大学)・村井宏
15:15	08	Land cover changes in coastal area and inland area in Banda Aceh after the 2004 Tsunami	○ ARIEF Mochamad Candra Wirawan (Mie university) and Akemi ITAYA (Mie university)
15:30	休憩		
15:45	09	飛砂量の全国マップ作成のためのメソ数値予報モデル GPV の活用	○南光 一樹・勝島 隆史・鈴木 覚・坂本 知己(森林総合研究所)
16:00	10	石川県加賀海岸における人工砂丘の起伏が海浜植生の多様性に与える影響	○岡 浩平(広島工業大学環境学部)・平吹喜彦(東北学院大学教養学部)
16:15	11	高田松原の海岸林が出来るまで～たたら製鉄と治水、新田開発～	○星上 幸良・小澤 宏樹(国際航業(株))・宍戸 功(仙台工科大学)
16:30	12	宮崎県一ツ葉潮害防備保安林のリゾート訴訟 — 裁判で問われたこと —	河合 英二(森林保全・管理技術研究所)

○:発表者

《ポスター発表》

(コアタイム 1(13:00~13:30))

講演番号	発表タイトル	発表者(所属)
P1	遠州灘海岸防災林におけるモニタリング調査	○猿田 けい・山田 晋也・近藤 晃(静岡県森林・林業研究センター)
P2	静岡県遠州灘海岸防潮堤のり面における盛土上の植栽樹の生育と土壌の硬さ	○吉崎 真司・田端光樹(東京都市大学環境学部)
P3	生育基盤盛土の土壌物理性への深耕の効果	○野口 宏典・小野 賢二・萩野 裕章(森林総研東北支所)・鈴木 覚(森林総研)
P4	新潟県柏崎海岸の土塁工への現地表土を用いた海浜植生の復元	○今富 有紀・藤塚 治義(グリーン産業株式会社)
P5	暖温帯太平洋側における広葉樹海岸林の林分構造と主要樹種の空間分布	○中島 有美子・吉崎 真司(東京都市大学大学院 環境情報学研究科)

○:発表者

(コアタイム 2(13:30~14:00))

講演番号	発表タイトル	発表者(所属)
P6	海岸林の保安全管理活動における企業等の参画およびステークホルダーとの関わりの現状	岡田 穰(専修大学商学部)
P7	三保松原周辺におけるクロマツ(<i>Pinus thunbergii</i>)葉変色個体の分布と特徴	○吉崎真司・島田瞭太郎(東京都市大学環境学部)
P8	静電容量でクロマツ根量の推定を目指して — 静電容量と地際径および根長との関係 —	萩野 裕章(森林総研東北支所)
P9	種子生産量および立地環境がクロマツ当年生実生の発生に与える影響	新田 響平(秋田県林業研究研修センター)
P10	短期的塩水浸漬がクロマツとアカマツの種子の発芽と初期生長に及ぼす影響	○伊東 日向・吉崎 真司(東京都市大学大学院 環境情報学研究科)

○:発表者